

ふれあい

平成二十三年度PTA総会が行われました

本年度のPTA総会が昭和の日の四月二十九日に開催されました。ご多忙の中にご参加いただきましたありがとうございます。総会では前年度会長より、事業報告をしていただき、会計決算については松本事務長より報告を受け皆様にご承認いただきました。引き続き本年度の事業計画及び会計予算案、新年度役員選出案が提案され、すべての議案について皆様の承認をいただきました。今年度も昨年度に引き続いてPTA A会員相互の親睦を深め、会員の皆様方のPTA活動への積極的な参加を図ることが提案されました。



左の年間活動日程も参考にご覧ください。積極的な参加をお願いします。

校長をお訪ねしよう

平成二十三年度PTA会長

桜の花びらが、はらはらと舞う四月、入学式が行われました。保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。親も子供も初めての学校生活、不安や戸惑いもあると思いますが、そんな時こそ先生や先輩達に話しかけてみてください。さつやと優しく答えてくださいますよ。

保護者の皆様は、ぜひ年間行われます学校行事にご参加ください。子供達の成長を実感できますと共に、同じ思いを持つ親同士、知り合い話し合う機会が増えると思います。

私自身、一年二年とPTA役員を務めさせていただきました。大変楽しく過ごさせていただきました。3年生になりもう一年ぜひ会長を「と言われまして、戸惑いもありましたが、がんばってみようと思えたのは、一・二年生の時の楽しい思い出があったからです。

会長という大役は初めてですので、どこまでできるかわかりませんが、精一杯努めます。

たいと思っておりますので、皆様の協力をお願いいたします。今年一年よろしくお願ひいたします。



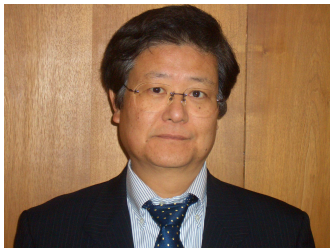
4月29日総会にて新役員を紹介しました。



4月19日新旧役員会にて総会の議題等を話し合いました。

支援学校にかわりました

校長 渡部浩三



校名を「京都府立城陽支援学校」に変更し、新年度がスタートして約2ヶ月になります。この間、重心教育部では中学部修学旅行が実施され、通学高等部では1年生の一泊研修、2年生の校外学習、3年生の現場実習が実施されました。病弱教育部では2名の転入生を迎えました。子ども達は、新学年、新担任との学校生活にも慣れそれぞれの場力を発揮し頑張っています。

学校では、次の4点を目標に教育を推進し、地域や保護者から信頼される学校づくりに努めます。

- いのちと人権を大切に、安心して安全な教育
- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育
- 病院、前籍校、企業などへのスムーズな接続
- 医療・労働・福祉等と連携した教育

保護者の皆様と連携を図りながら教職員一同努力してまいりますので、どうかよろしくお願ひします。さて、先日行われた授業参観及びPTA総会では例年を上回る多くの皆さまにご出席いただきありがとうございます。総会では、二十三年度新役員と事業計画が承認されました。本校には3つの教育部がありますが、同じ学校の仲間として教育部の枠を超えて、交流授業や体育大会、学習発表会などで交流を進めています。会員の皆様方もできるだけ学校に足を運んでいただき、共に子どもたちをばけましていただきませすようお願いいたします。また、多くのPTA事業が企画されていますので、全ての会員の皆様にご参加いただき、交流を図り、会員相互の結び付きを広めることができたらと思っております。

吉田新会長さんをはじめとして役員の方々を中心に会員の皆様方の協力のもとPTA活動が推進されることを願っております。なつかしくお願ひいたします。

トピックス

本校 湯川総括主事が東日本大震災復興教育活動支援にいきます。

五月二十一日（土）～二十七日（金）の日程で、京都府教育活動支援チームの一員として東日本大震災の被災地である福島県に入りまし。

初日は県北東部、宮城県境近くで海岸沿いの新地町、相馬市、南相馬市の学校等の視察を行いました。海岸沿いは、津波により流されたガレキが道路をふさぎ、家屋は土台だけを残り跡形もなくなり、大きな漁船が海岸からかなり離れた道路沿いに置き去りにされているなど非常に厳しい状況でした。

翌日から支援に入ったのは、会津若松市で臨時に開校した大熊町立小学校でした。ご存じのとおり大熊町は太平洋に面し、福島第一原子力発電所がある町で、町民や役場など町全体が会津若松市に移転しています。震災

給食指導風景



翌日から自宅には帰れず、着の身着のまま県内の避難所を転々としながらようやく会津若松市に落ち着いた、とのことでした。初日の朝、校長室を訪れ、挨拶の後、教室に行き授業を受け持ちました。まず、子どもたちが笑顔でとても元気に迎えてくれたことに驚きました。また、同様に先生方も被災者で非常に厳しい生活を強いられながらも明るく子供たちに接しておられる姿が印象的でした。

日が経つにつれ、給食時間や休み時間に私の周りに集まり話かけてくれる子どもたちの数や、先生方からの相談件数も増え、少しは役に立っているのかな?と感ずることができました。今回は一週間と短い期間でしたが、復興までの非常に長い道のりを感じさせる滞在でした。その中で私自身も子供たちから「元気と勇氣」をいただきました。末筆になりましたが、PTAの皆様からお預かりした大切な文房具等の支援物資を校長先生に手渡しました。校長先生の笑顔が忘れられません。会員の皆様、本当にありがとうございます。